

令和7年度 鹿嶋市立鹿島小学校グランドデザイン

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

勤 協 自 誠
勉 和 律 実
校 訓

鹿嶋市の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- 健康と安全の確保に努め活力のある心を育てる
- 郷土の理解を深め郷土を愛する心を養う

いばらき教育プラン

基本理念：活力があり、県民が日本一幸せな県
Ⅲ「新しい人財育成」
茨城県の未来をつくる「人財」を育て、
日本一子どもを産み育てやすい県を目指します

学校教育目標

よく学び 心豊かな たくましい子 の育成

鹿嶋市の教育の基本理念

主体的に学び 人とつながり
未来をひらく 鹿嶋っ子



◆ 児童の強み ◆

- ◇ 素直で明るく 勤労意欲が高い
- ◇ 学習に積極的でよく発表する
- ◇ 協力して活動することができる

◆ 本校の課題 ◆

- ◆ あいさつや返事がきちんとできる習慣の定着
- ◆ 誰とでも仲よくする心を育てる
- ◆ 思いや考えを表現する力を育てる
- ◆ 進んで運動し、体力や技能を伸ばす

◆ 保護者の願い ◆

- ◇ 笑顔で学校生活を語れるように ◇
- 思いやりの心が育つこと
- 学習内容が身に付くこと
- 安心・安全に生活すること



- 学びのある学校
- 楽しさのある学校
- 活力のある学校



- か：考えを深め表現する子
- し：心身ともに健康な子
- ま：周りに優しく思いやりのある子



- 情熱：愛情、使命感、向上心
- 指導力：学習指導力、生徒指導力、生徒理解力
- 豊かな人間性：支え合い、高め合い、励まし合い

コンプライアンスの遵守

教職員面談とコンプライアンス研修
(月1回)による資質の向上
(不祥事0の継続)

組織目標

- 児童が安心して学べる魅力ある学校・学級をつくる。
- 児童の思いや考えを引き出し、児童一人一人の表現力を高める授業を推進する。

働き方改革の推進

時間外在校等時間の減少(月あたり45時間)
Have a nice weekend 金曜日 18:00退勤
月2回の学年定時退勤日の設定



徳 心豊かな子を育みます

「思いやりのあるやさしい子」

1 人権教育を推進します

- 多様性を認め合う学年・学級経営の充実
- 人権集会の実施
- 人権コーナーの充実(ありがとうメッセージ)
- 学校生活アンケートの実施(毎月)

2 豊かな体験活動を推進します

- 異学年交流の実施
- 地域教育資源の活用(人・もの・自然)
- 保幼小中高との交流活動

3 潤いのある環境を整えます

- あいさつ運動の実施(地域と児童会)
- 朝読書の充実
- 清掃活動の充実

- ☆ あいさつがきちんとできる児童 90%以上
- ☆ 読書年間50冊達成者(県教育長賞) 85%以上
- ☆ 学校が楽しいと実感できる児童 90%以上

知 よく学ぶ子を育みます

「自分の思いや考えを豊かに表現する子」

1 児童の主体性を生かした授業を行います

- 一人一人の活躍の場と互いに認め合う機会の設定
- 課題設定の工夫(生活と結びつけた学習内容)
- 個別最適な学びと協働的な学びの実践

2 ICTを活用し、対話力や表現力を高めま

- 「わかしこタイム」の充実
- 自分の考えを広めたり深めたりする活動の工夫
- Chromebook(CB)やデジタル教科書の効果的活用

3 学習の習慣化を図り、継続する力を育みます

- ノート展の実施
- 読書タイムの設定(朝読書週3回)
- 自主学習の推奨

- ☆ 自分の思いや考えを表現する児童 90%以上
- ☆ 積極的にCBを活用する児童 90%以上
- ☆ 家庭学習に取り組む児童 90%以上

体 たくましい子を育みます

「ねばり強くやりぬく子」

1 体力向上を図ります

- 運動量確保を目指した体育の授業
- 焦点化した業間運動の充実
- 投力アップのための場の設定

2 自己管理能力の育成を推進します

- 交通安全教育の充実
- 避難訓練・保護者引渡訓練の充実
- ノーゲームデーの実施

3 健康教育及び学校内外の安全管理の徹底に努めます

- 食育・がん教育・薬物乱用防止教室の実施
- 基本的生活習慣アンケートの実施
- 日々の安全点検とリスクマネジメント研修の実施

- ☆ 体力テストA+Bの割合 50%以上
- ☆ 安全な生活を心掛けている児童 90%以上
- ☆ 22時前に就寝する児童 90%以上

自立 自立する子を育みます

「自分の力を高める子」

1 特別支援教育を充実します

- 校内支援体制の強化
- 校内研修の充実
- 特別支援教育巡回相談の効果的な活用

2 一人一人の教育的ニーズや特性に応じます

- ユニバーサルデザイン授業の推進
- 個に応じた指導内容・方法の工夫
- 合理的配慮の決定・提供

3 校種間、関係機関との連携を図ります

- 個別の指導計画の作成と活用
- 校種間(保幼小中)の情報引き継ぎ
- 家庭・地域・関係機関との情報共有・連携

- ☆ 個別の指導計画の作成及び活用 100%
- ☆ 在籍・通級児童の個別的教育支援計画の作成及び活用 100%

コミュニティ・スクール：地域とともにある学校づくり

○学校運営協議会の実施(年4回以上)

- ☆ コミュニティ・スクール関係者による授業参観の実施(年2回以上)
- ☆ 家庭・地域との連携について肯定的な保護者(85%以上)

校 内 研 究

研究テーマ 児童が安心して学べる学校づくり

- 県教育研修センター研究事業(教育相談に関する研究) R7・8
- 校内研修科目：算数科
- 鹿嶋市授業改善プロジェクト：外国語、外国語活動(鹿野中学区)